

# 沖縄県と鹿児島県で記録されたフチヌイチョウジガイ属トウガタガイ類

三浦知之

〒 880-0035 宮崎市下北方町平田

## Abstract

A pyramidellid mollusks species was recorded from Okinawa, *Rissosyrnola* cf. *aclis* (A. Adams, 1853) and another congeneric one from Kagoshima prefectures. They differ one from another in the number of axial ribs.

## はじめに

前報(三浦, 2024)に続き, 南九州地域で得られたフチヌイチョウジガイ属トウガタガイ科貝類を報告する。いずれも他生物の採集に際して混獲され, 種レベルでの同定はできなかったが, 南九州での既知の知見が少ないため, 標本を作成し, 今後の研究に役立てたい。

## 材料と方法

材料は, フチヌイチョウジガイは鳩間島から購入した星砂から死殻標本が見つかった。また, 1993年の調査で屋久島沖で採取した底生生物にも同属の2個体が含まれていた。いずれも, 70% Alcoholに液浸保存して, 殻の形態を観察した。観察に際しては, 漂白剤と超音波洗浄機を用いて少しずつ表面の付着物を除いた。

## トウガタガイ科 Pyramidellidae Gray, 1840

亜科不祥

*Rissosyrnola* Nomura, 1939

フチヌイチョウジガイ

*Rissosyrnola* sp. A

(Figs. 1A–D)

possibly *Pyramidella aclis* A. Adams, 1953, p.

224; Sowerby, 1955 p. 816, pl. 172, figs. 16, 17.

*Syrnola (Rissosyrnola) aclis* Nomura, 1939, p. 123 & p. 155, pl. 9, fig. 21.

フチヌイチョウジガイ 堀, 2017, p. 1107, pl. 409 fig. 13 as *Mormula aclis* (A. Adams, 1854)

**採集記録** 2006年4月28日沖縄県八重山諸島鳩間島鳩間小中学校から購入した星砂(2死殻)。

**形態・分布・生態** 鳩間島の星砂に含まれていた死殻は, 殻高5.6–5.8 mm 殻幅2.3–2.4 mmの2個体であった(Fig. 1A)。胎殻は, 2.5階以上で殻軸に対して180°異旋し, 1/3以上が後生殻第1階に埋没する(Figs. 1C–D)。後生殻の螺層は2個体とも8階で, 殻は白色不透明で厚く, 内部は透けない。螺層に淡黄褐色の色帯が現れることがある(Fig. 1A)。螺層の側縁は膨れないが, 縫合の下でやや丸みを帯び, 弱い肩になる。縫合は明瞭で, 浅くくびれる。側縁全体が緩い曲線で貝は紡錘形となる。体層が大きく, 殻全体の2/5以上を占める。各螺層には体軸に対して5°程度傾いた縦肋がある。縦肋は非常に細く弱いため, 筋状に見える(Fig. 1A)。縦肋は数多く, 体層では33, 38本であった(Fig. 1B)。縦肋はほぼ殻底近くまで延びる。縦肋より肋間がかなり狭く, 2/3から半分以下となる(Fig. 1B)。肋間に螺条はあるが, 非常に弱い。殻口は扇形で, 直線的な内唇と殻底のラインが角張り, 外唇は円弧状で肥厚する。軸壁は明瞭である。

本種の紡錘形の外見や厚い殻はチョウジガイ属 *Mormula* とよく似るが, 細かく数の多い縦肋の特徴から, Nomura (1939) により別属 *Costosyrnola* Laws (1937) の1亜属として設けられた *Rissosyrnola*

Miura, T. 2024. Records on pyramidellid mollusks of the genus *Rissosyrnola* collected from Okinawa and Kagoshima prefectures. *Nature of Kagoshima* 51: 89–91.

☑ TM: Shimokitakata-machi, Miyazaki 880-0035, Japan (e-mail: miurat@cc.miyazaki-u.ac.jp)

Received: 25 July 2024; published online: 26 July 2024; [https://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK\\_051/051-018.pdf](https://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK_051/051-018.pdf)

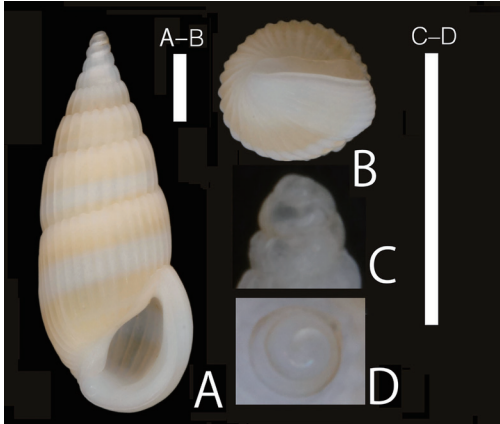


Fig. 1. A. *Rissosyrnola* sp. A sorted from beach sand of Hatomajima island, Okinawa Prefecture, ventral view; B. Base of A, posterior view; C. Protoconch of A, side view; D. The same, anterior view. Scales = 1 mm.

の1種とされ、現在では独立の属として扱われている (WoRMS, 2024)。今回確認された標本の原核は180°異旋し、*Pyrgulina* A. Adams (1863) 属などに近い可能性があり、チョウジガイを含む *Turbonillinae* ではないと考えられる。Nomura (1939) と堀 (2017) のフチヌイチョウジガイと鳩間島の打ち上げ標本は同種と考えられるが、*Pyramidella acclis* A. Adams, 1953 の原記載地であるフィリピンの標本では、明らかに各螺層の縦肋が太く (A. Adams, 1855)、数が少ないので、鳩間島から得られた標本は別種の可能性もある。

### (新称) ヤクシマフチヌイチョウジガイ

#### *Rissosyrnola* sp. B

(Figs. 2A–D)

*Pyramidella* cf. *acclis* A. Adams, 1953, p. 224; Sowerby, 1955 p. 816, pl. 172, figs. 16, 17.

**採集記録** 1993年6月18日鹿児島県屋久島南西沖水深160–162 m, 30°04.3'N 130°04.7'E–30°04.3'N 130°04.8'E, 淡青丸 93-09 航海, Station YT16-02 ORI Dredge (2).

**形態・分布・生態** 鹿児島県屋久島沖から得られた2個体は、前種に比べてわずかに大きく殻高6.0 mm, 殻幅2.5 mmであった (Fig. 2A)。胎殻は、2.5階以上で殻軸に対して180°異旋し、1/3以上が後生殻第1階に埋没する (Figs. 2C–D)。

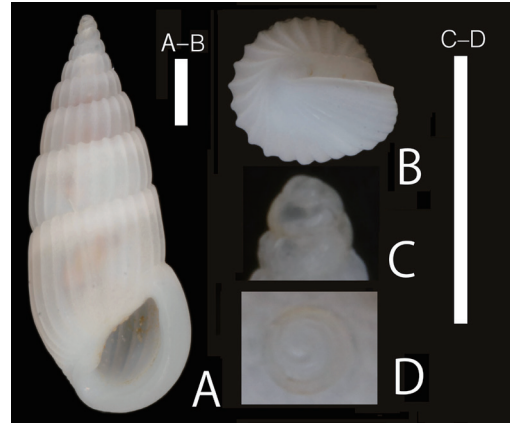


Fig. 2. A. *Rissosyrnola* sp. B collected from off Yakushima island in 160–162 m deep, Kagoshima Prefecture, ventral view; B. Base of A, posterior view; C. Protoconch of A, side view; D. The same, anterior view. Scales = 1 mm.

後生殻の螺層は8階で、殻は白色不透明で厚く、内部が透けて見えることはない。螺層に淡黄褐色の色帯はない (Fig. 2A)。螺層の側縁全体が緩い曲線で貝は紡錘形となる。体層が大きく、殻全体の2/5以上を占める。体軸に対して5°程度傾いた縦肋は細く弱い。縦肋は数多く、体層に27, 28本見られた (Fig. 2B)。縦肋はほぼ殻底近くまで延びる。縦肋より肋間がかなり広く、ほぼ同じ幅か数倍になることがある。肋間の螺条は非常に弱い。殻口は扇形で、直線的な内唇と殻底のラインが角張り、外唇は円弧状で肥厚する。軸壁は明瞭である。

前種とともに *Rissosyrnola* の属の1種と考えられる。生息場所は浅海域で前種と異なる。しかし、相違点はほぼ縦肋の数と肋間の広さのみである。標本数も少なく、ここでは未同定のまま和名だけを付して別種扱いとして報告する。前種とともに、今後、詳細な再検討が必要である。

### 引用文献

- Adams, A. 1853. Descriptions of new shells, from the Cumingian collection. Proceedings of the Zoological Society of London. (1851) 19: 224–225.
- Gray, J. E. 1840. Synopsis of the contents of the British Museum, 42nd ed., 370 p.
- 堀 成夫. 2017. トウガタガイ上科. in 奥谷喬司編集「日本近海産貝類図鑑」, 東海大学出版会, 平塚. pp. 702–729, pls. 350–363.
- Laws, C.R. 1937. A review of the Tertiary and recent neozelanic

- pyramidellid molluscs. No. 4–The syrnolid genera. Transactions of the Royal Society of New Zealand. 67: 303–315.
- 三浦知之. 2024. 宮崎県と和歌山県で採集されたトウガタガイ科貝類 – チョウジガイ –. Nature of Kagoshima. 51: 63–65.
- Nomura, S. 1939. Summary of the fossil and recent Japanese Pyramidellidae, with the descriptions of several new species. In: Jubilee Publication in the Commemoration of Professor H. Yabe, M.I.A. Sixtieth Birthday, vol. 1: 119–156, pl. 9.
- Sowerby, G. B. II. 1855. Thesaurus Conchyliorum or Monographs of Genera of Shells. London, privately published, vol. 2: pp. 439–899, pls. 92–186.
- WoRMS. 2024. World Register of Marine Species. <http://www.marinespecies.org>. accessed 2024-06-27.